

大宮区役所新庁舎整備事業 (第2回) 市民ワークショップレポート



大宮区役所新庁舎整備事業 (第2回)「市民ワークショップ」を開催しました!

第2回は1/50の模型を用いて、本事業における建築計画の概要や区役所機能、図書館機能、交流機能等のレイアウトなどを説明しました。また、機能ごとに5つの相談コーナーを設け、グループで一巡してもらうことにより、各機能の概要や施設の全体のイメージを把握してもらいました。

開催スケジュール

第1回(7月16日)
(市民会館おおみや)
○オリエンテーション
○整備事業概要、
事業者提案の説明
○現地視察
○グループ
ディスカッション等

第2回(7月30日)
(まちラボおおみや)
○小中学生意見紹介
○模型を用いながら
の意見交換
○グループ
ディスカッション
等

第3回(8月20日)
(まちラボおおみや)
○模型を用いながら
の意見交換
○グループ
ディスカッション等

第4回(9月3日)
(まちラボおおみや)
○報告会
○グループ
ディスカッション
○全体のまとめ

参加者

市民委員：26名(公募8名、各種市民団体等からの推薦者23名※欠席10名)
事務局：35名(ファシリテーター2名、事業者23名、さいたま市担当課10名)
アシスタント：7名(東洋大学 工藤研究室の学生の方)

前回の振り返り・小中学生の意見紹介

○藤村先生より、前回のプログラムや各グループから出された主な意見について振り返りがありました。また第2回の相談コーナーを巡って意見交換を行う方法について説明がありました。

○図書館職員より、大宮図書館の利用に関する小中学生のアンケート結果について説明がありました。

- ・新大宮図書館に子どもたちの意見を取り入れるためアンケートを実施
- ・対象は大宮区内(大宮駅以東)の小中学校8校のうち、児童・生徒会長、副会長及び図書委員(142件)
- ・約3割の生徒が、図書館が遠い、時間がない、本を返すのが面倒などの理由で図書館に行ったことがないという結果をふまえ、これらの生徒に図書館の魅力を伝え、来館してもらうことを今後の課題としていく。
- ・子どもと一緒に訪れる保護者へのサービスも充実させていく。



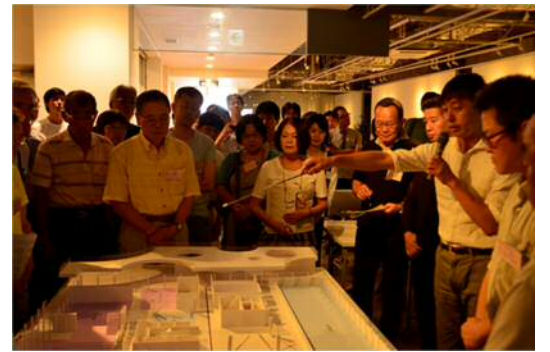
事例紹介・1/50 模型を使った建築計画の説明

○工藤先生より、今回目指していく建築への理解の手がかりとして自身が手掛けた作品や他市の庁舎、図書館の事例を紹介しました。

- ・金沢海みらい図書館、千葉商科大学 TheUniversityDINING、アオーレ長岡、岐阜市立図書館みんなの森
- ・氷川参道沿いのロケーションを活かした建築にしていく
- ・氷川参道の緑に面した図書館とし本を読む雰囲気デザイン
- ・大きな一つの空間の中で、様々な人の活動を連鎖させていく
- ・庁舎建築は、庁舎機能だけではなく様々な公共空間と結びつくことによって、より市民のための場所へと変わってきている。

○工藤先生、久米設計伊藤さん、大成建設の伊勢さんより、1/50模型を使った建築計画の説明がありました。

- ・各階構成
- ・スパイラル状の連鎖的な動線
- ・立体的な吹き抜け空間



グループディスカッション・発表

AからEの各機能に分かれた相談コーナーを設け、それぞれに専門の設計者・運営者・市職員を配置し、市民の方は各相談コーナーを一巡することで、各機能の概要を理解し施設全体のイメージを把握していききました。

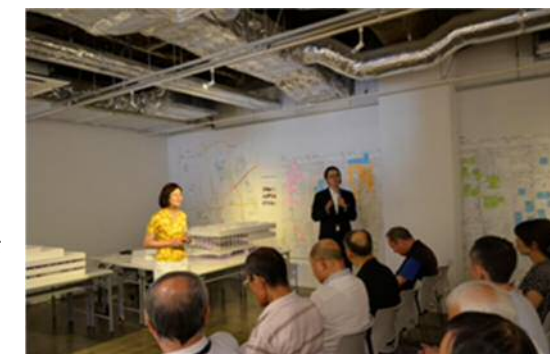
- A：区役所窓口サービス
 - B：図書館学習スペース
 - C：ふれあいスペース
 - D：カフェ・コンビニ・屋外スペース
 - E：様々な視点から(ユニバーサル・環境など)
- (詳細は次頁参照)



第2回のまとめ

最後に第2回のまとめとして、藤村先生より講評をいただきました。

「今回の相談コーナーのような議論の仕方を『ワールドカフェ方式』と呼びます。説明を受ける市民の皆さんがある一定時間で各コーナーを回っていくことで、気持ちを切り替えながら議論を深めていくことができたと思います。また、市民の方から区役所というよりパブリックスペースであるという感想をいただきましたように、今回の建築がどのようなパブリックスペースで、どのようにして公共性を獲得していけるのかというイメージを高めていただければと思います。」



各班の様子

<A：区役所窓口スペース>



- 内外のどちらにも見やすいサイン計画をしてほしい
- 窓口カウンターが全てオープンだと利用しにくいのではないかな。
- 職員が市民の元へ来て相談に乗ってくれるコーナーがほしい。
- 市民の相談内容に合わせたコーナーがほしい
- 市庁舎と図書館がひとつになるので、駐輪場が少ないのではないかな。
- 他の区役所のいい事例、悪い事例を参考にしながら取り入れてほしい。

<B：図書館スペース>



- 電子書籍のコーナーがほしい
- 目の不自由な方のための視聴覚室が必要
- 騒音対策をしてほしい
- 24時間利用可能な返却スペースがほしい
- 大宮駅で本の返却ができるようにしてほしい
- テラスは図書館からもカフェからも利用できるようにしてほしい。
- 児童書コーナーやおはなし室などこどものスペースを広くしてほしい。ベビーカーのスペースを確保してほしい

<C：ふれあいスペース（交流機能）>



- 予約方法や受付など運営方法を教えてほしい
- ポスターやチラシを貼れるコーナーを設置してほしい
- インターネットでイベント情報を見られるようにしてほしい。
- フリースペースはイベント以外のとき市民が利用しやすい場所にしてほしい。
- いろいろな家具を設置してほしい。
- 学校の音楽会の発表や書道の展示を行いたい。
- 展示スペースでは大宮の歴史と文化を伝えられるようにしてほしい。
- 大宮アルディージャのPRスペースを設置してほしい

<D：カフェ・コンビニ・屋外スペース>



- カフェで購入したものを直接テラスに持っていけるようにしてほしい。外階段を設置してほしい。
- 夜はアルコールを出してほしい。
- コンビニは障害者による焼き立てパンを販売するなどの特徴を出したほうが良い。
- 夜は暗くて怖いので屋外スペースの夜の雰囲気をよくしてほしい。イルミネーションを行ってほしい。
- 氷川参道の緑を生かした綺麗な外部空間にしてほしい。
- 屋外コンサートをしたい

<E：様々な視点から（ユニバーサル・環境など）>



- 車椅子の人もステップリビングを使えるようにしてほしい
- エスカレーターは下りも必要
- 避難場所としての役割も重要
- 雨水を利用できるようにするとよい
- 駐車場を使いやすいものにしてほしい
- 誰でも使えるトイレは各階に必要。
- アプローチを楽しくしてほしい
- 水辺空間もあるといいのでは
- 図書館の吹き抜け空間は環境負荷が重くならないか